

2025 年
05 月 7 日 (水)
第 392 号

日本共産党札幌市議団ニュース

日本共産党札幌
市議団事務局
TEL : 211-3221
FAX : 218-5124

安心と笑顔のために



2025 年 3 月 24 日
病院局 予算特別委員会
長屋市議

「さいごの砦」 — 市立病院

長屋いずみ市議は、市立病院のハイケアユニット（HCU）の運用拡大について質問しました。

ハイケアユニットは集中治療室（ICU）に次いで一般病棟での対応が難しい重症な救急患者を対象とし、看護体制も一般病棟が、患者 7 名に対して看護師 1 名の配置ですが、ハイケアユニットは患者 4 名に対して看護師 1 名の配置で手厚いケアの提供が可能です。

当初は救命救急センター専用で 12 床程度の運用にとどまっていたものの、対象時間や診療科を拡大した結果、「月平均受入れ患者数が前年比約 2 倍」「年間で約 1.6 億円の増収見込み」となっています。

市は、体制面や職員の反応について、「看護師については、各病棟の利用状況を踏まえ、配置基準を守りながら、適時配置転換を行うことで対応」「今まで以上にやりがいを感じるという声も

上がっている」と説明。長屋市議は「手厚い医療を増員なしの配置換えで対応したということだと思います」、「部署移動は緊張が伴い、なおかつ、高度な医療と幅広い看護技術と知識をフル回転させることが必要な部署」と職員の負担を気遣いました。

加えて、年末年始の急患対応では「例年 1 日平均約 15 件のところ、約 30 件の受け入れ要請があり」「ハイケアユニットを中心に可能な限り対応」との説明があり、今後も受入れ体制の強化に努める方針が示されました。

長屋市議は、「命の安全保障」「公共財としての医療」という視点を強調し、「収支だけでは判断できない」として、札幌市が診療報酬制度の改善を国に働きかけるよう求め質疑を締めくくりました。